

| 議案番号 | 議案名 | 概要 | 賛成しなかった議員 |
|--------|--|---|--------------------------------------|
| 議案第4号 | 《反対討論 日本共産党津市議団 藤本 智子議員》認定こども園は、児童福祉法24条2項に位置づけられた事業者と保護者が直接契約によって成り立つ施設で、児童福祉法24条1項に位置づけられ保育実施義務を持った保育所とは質的に異なるものである。認定こども園が広がることにより、保育実施義務が形骸化するのではないかという懸念がある。また、教育時間4時間の1号認定の子どもと、保育時間8時間または11時間の2号認定の子どもと一緒に教育・保育することによる、大きな課題もある。保育所では、3歳児から5歳児は午睡をするが、午後から帰宅する1号認定の子どもがいるこども園では、午睡の設定をどのように行うのかが、日常生活の中での大きな課題となる。津市のこども園は、現在5園計画されているが、定員200～300人の大規模園で、1人の園長では、子どもたちの日々の様子を把握できず、災害対応にも懸念がある。5園の中でも、(仮称)津みどりの森こども園は、実質には幼稚園5園と保育園1園を合わせた3中学校区に対応するものとなる。これでは、遠い距離を送迎しなくてはならず、一部の地域からは歩いて行けない。歩いて行ける範囲で子育てできる環境を整える必要があるのに、当こども園は、公立幼稚園の統合の要素が強いと言わざるを得ない。以上の理由で、当議案に反対する。なお、こども園の議論に当たり、保育所には教育がないかのような誤解もあるようだが、保育所における保育は「養護及び教育を一体的に行うこと」と運営基準第35条で明記されており、保育所でもきちんと教育が行われている。幼児教育＝幼稚園という短絡的な考え方は間違いだということもあえて申し上げておく。 | | |
| 議案第16号 | 平成28年度津市一般会計補正予算(第9号) | 国保会計への繰出金・保育所施設整備事業・畜産業振興事業等の増、道路新設改良事業・文化振興事業・下水道会計への繰出金等の減による 34億711万1000円 の減額補正等 | 長谷川正 |
| 議案第16号 | 《反対討論 市民の声を大切にする会 長谷川 正議員》平成25年度～27年度決算で、地道に指摘してきた成果が出てきたのか、予算編成については大分良くなってきた。その中で議会費について、政務活動費は1人1カ月5万円、年額で60万円が支払われている。ある一人の議員が、自分個人の選挙活動のために、政務活動費を使って新聞を出している。法的にはグレーであり、選挙違反とは言えないが、この新聞の中身の一部は、議員活動としてのモラルに欠けている。政務活動費が支給されていなければ、このような個人の選挙活動に使われることは、まずもってない。私を含め35人の議員は、自身として、会派として問題のないように、政務活動費を立派に、正しく使っているのに、自分だけがよかったらいいという議員一人のために、他の議員が迷惑を被る。政務活動費をこのような支出のために使われることはいかかなものかと感じることから、津市議会として、条例改正して政務活動費をゼロ円にすべきである。また、議長会関係事業では、1年間に全国・東海・三重県大会を含め、毎年300万円以上を計上している。平成28年度は、16回の会議中、9回しか出席していない。これは、出席しなくても大勢に影響がないということを示している。大切な市民の血税を使ってまで、他の市議会とおつき合いをするというメリット、費用対効果は全くないということから反対する。 | | |
| 議案第17号 | 平成28年度津市モーターボート競走事業特別会計補正予算(第2号) | 本場開催事業等の増、施設管理事業等の減による 22億1195万7000円 の増額補正 | 長谷川正 |
| 議案第17号 | 《反対討論 市民の声を大切にする会 長谷川 正議員》平成28年度は、本場・他場合計で約419億円もの売り上げが見込まれている。しかし、これだけの売り上げがありながら、一般会計への繰り出しは1億円のみである。約419億円もの売り上げで、たったの1億円。日本財団には、みかじめ料として、平成28年度分として約8億4000万円もの大金を払う予定であるのに、まことに遺憾で、ばかにしていると感じる。競艇事業というものは、モーターボートレースを開催して、そのもうけを一般会計に投入し、助けるという名目で戦後に始まった事業である。日本財団の懐を裕福にするために始めた事業ではなく、その他にも、多方面にお金を使い過ぎている。一般会計へ繰り入れることだけに英知を絞って、支出を切り詰めれば、より多くの繰り出しができ、一般会計の助けになるはずである。多大な売り上げがありながら、一般会計への繰り出しが少な過ぎること、また日本財団に支払っている高額なみかじめ料を廃止するべきとの立場から反対する。 | | |
| 議案第30号 | 平成29年度津市一般会計予算 | 環境関係事業や生活基盤の整備事業関係経費、公共施設等の防災機能強化や消防関係事業、防災対策事業などの安全なまちづくりの推進経費、健康づくりや地域医療体制の充実のための経費、福祉関係経費、教育関係経費、生涯スポーツ・文化の振興に関する経費、農林水産業の振興事業や商工業および観光の振興事業、交流機能の向上に関する経費、市民活動の推進と市民との協働に関する経費等、 1128億8867万7000円 | 中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、岡村 武 |